

教育目標「考える子 思いやりのある子 たくましい子」



せんだんの木



伊勢崎市立茂呂小学校 学校だより No. 8 令和6年9月13日

全国学力・学習状況調査の結果

4月に6年生を対象に実施した「令和6年度全国学力・学習状況調査（国語、算数、児童質問紙調査）」の結果が国から届き、良かったところや課題（対応策）について校内で分析を行いましたのでお知らせします（6年生には一人一人に結果（個票）を返却します）。

なお、本調査は児童が身に付けるべき学力の一部であり、学校における教育活動の一側面を調査したものであることにご留意ください。

国語

本校は、全国平均正答率より高い結果となっています

【良かったところ】

教科書で扱った熟語や日常的に使っている言葉については身に付いており、日々の家庭学習での漢字練習等の成果が出ていると思われます。物語文等において、場面に応じた適切な語句や表現を選ぶことができていることは、読書活動の成果が出ていると考えられます。また、心に残ったことや考えを書くことができているのは、週末作文や本の紹介カード作成の成果が出ていると考えられます。今後も漢字練習や読書、本の紹介カード作成を続けることで基本的な知識・技能を高めながら、表現力も伸ばしていきます。

【課題と改善策】

複数の資料を読み取って適切なものを選択する問題については、全国平均よりやや低い結果となりました。文章を読み取る際のポイントを共に考えたり友だち同士で比較したりする活動を通して、思考力や読解力をつけていきたいと考えます。また、自分の意見や考えを端的に文章にまとめる練習や自分の考えや根拠を明確にして伝え合う表現活動も充実させていきます。

算数

本校は、全国平均正答率より高い結果となっています

【良かったところ】

「数と計算」「図形」「測定」「変化と関係」「データの活用」のどの領域においても、全国平均よりやや高い結果となりました。算数について、「好き」「授業の内容が分かる」と答えた児童も多くいました。日々の授業や家庭学習での取り組みの成果が出ていると考えます。特に、計算に対して成り立つ性質を活用して、別の計算の仕方を説明し、答えを求められたことは、低学年から系統的に計算のきまりについて理解し、数が変わっても、それを基に問題を解いてきた成果が出ていると考えられます。「データの分類整理」についてもよくできており、他教科を含め、データを読み取ったり、問われている意味を考えたりする学習が活きていると考えられます。今後も、何を求めるかを明確にしたり、既習事項を使って課題解決をしたりしながら、達成感を味わえる授業づくりを意識して取り組んでいきます。

【課題と改善策】

球の直径からその球がぴったり入る立方体の体積を求める問題と、2つの速さを比べるときに、道のりか時間のどちらかを揃えて、もう一方を比べる問題は、正答率がやや低い結果となりました。授業では教材として実物を使うなど、実感を伴って考える活動を取り入れたり、色々な解法があることを話し合う活動を充実させたりしながら、思考・判断・表現力をさらに伸ばしていきたいと思えます。また、算数の大切さや算数を学習したことが将来、社会に出た時に役立つと実感が持てる児童がやや少ない結果となっており、授業の中で、学習内容を生活場面と結び付け、実際に活用して問題を解いたり紹介したりしていきます。

児童質問紙

思いやりや規範意識、学習へ向かう姿勢等は確実に身に付いています

【相談しやすい雰囲気作りに関して】

「困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか」という質問項目では、全国と比べて肯定的な回答が多くなっています。毎月なかよしアンケートを実施し、日頃から先生に話しやすく聞きやすい雰囲気づくりを行っている成果と考えられます。今後も、話しやすい・聞きやすい雰囲気づくりや子供たちへの声かけに努め、温かな学級・学校作りを一層進めていきます。

【自己肯定感・自己有用感に関して】

「自分にはよいところがあると思えますか」「人の役に立つ人間になりたいと思えますか」「地域や社会とよくするために何かしたいと思えますか」という質問項目は、全国と比べて肯定的な回答が多くなっています。本校では、各学級の係活動や当番活動、委員会活動、クラブ活動、たてわり活動（わくわく集会）といった特別活動を大切にしている成果と言えます。今後も、「自分たちの学校（学級）は自分たちでよりよくする」といった意識を高め、自分から実践できる子供たちを育てていきます。

【ICT機器の活用と子供たちの学びに関して】

5年生までの学習の中でPC・タブレットなどのICT機器を活用することについて、「分からないことがあった時に、すぐ調べることができる」「友達と協力しながら学習を進めることができる」などの質問項目で、全国に比べて肯定的な回答が多くなっています。

また、「5年生までに受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか」「各教科などで学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめる活動を行っていましたか」「学習内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができていますか」「自分に合った教え方、教材、学習時間などになっていましたか」という質問項目でも、全国に比べて肯定的な回答が多くなっています。各教科等の授業で、タブレット端末を有効に活用し、個別最適で協働的な学びとなるような授業を展開するようになってきたためと思われれます。今後も子供たちが主体的に学習に取り組めるような授業づくりを進めていきます。

【家庭学習の量と質に関して】

全国・県と比べ、平日や休日の家庭での学習時間が少なく、しかも年々減っている傾向にあります。一方で「分からないことや詳しく知りたいことがあったときに、自分で学び方を考え、工夫することはできている」という質問に肯定的回答が多いので、宿題だけではなく、自分で考えた学習に取り組めるようにチャレンジノート等の取組を充実させていきます。

※「茂呂小ブログ」で様々な教育活動等、学校の様子を写真で紹介しています

<http://isesaki-morosyou.blogspot.com/>